

## 要 旨

農林被害対策のため、有害駆除等で捕獲されたニホンジカ皮の利用を目的に、クロム鞣し剤および加脂剤の添加量を変化させて、ニホンジカクロム鞣し革の試作を行い、その特性を明らかにしました。

## ポイント

兵庫県では、近年ホンシュウジカに分類されるニホンジカ(以後、ニホンジカと表記)による年間数億円の農林被害が深刻化し、年間約2万頭のニホンジカを捕獲し、駆除を行っています。これらのニホンジカ皮の有効利用のために、平成20年度にニホンジカ皮によるホルムアルデヒド鞣し白革素材の開発を行いました。平成21年度は、シカ皮の利用拡大を図るため、クロム鞣し革の開発とその特性評価を行いました。

## 内 容

試作した革の引張強さおよび柔軟性について試験を行い、クロム鞣し剤および加脂剤の添加量による革の特性を明らかにしました。図1に示すように革の引張強さは革中のクロム含有量が約2～4%では変わらず、脂肪分の増加に伴って高くなりました。同様に革の柔軟性も、図2に示すように脂肪分の増加に伴って高くなりました。

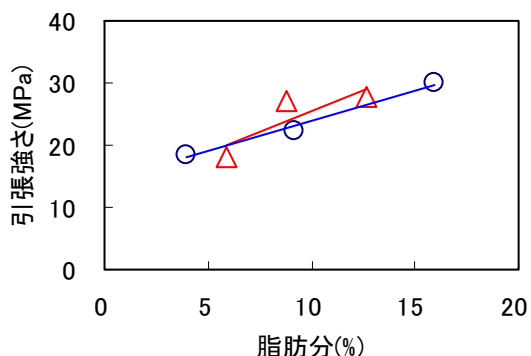


図1 ニホンジカクロム革の引張強さ  
クロム含有量：(○)2.2%、(△)3.6%

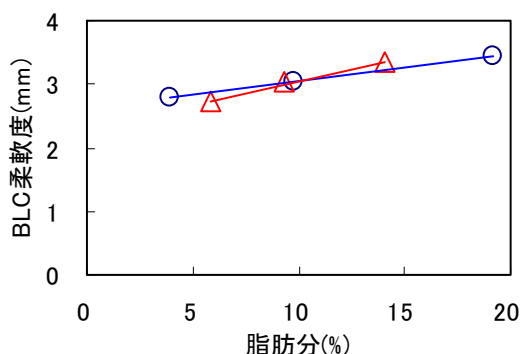


図2 ニホンジカクロム革の柔軟性  
クロム含有量：(○)2.2%、(△)3.7%

研究の実施にあたり、(有)大昌、(株)山陽の関係各位にご協力頂きましたことを深く感謝いたします。